

JIS

土工機械一 音響パワーレベルの決定一動的試験条件

JIS A 8317-1 : 2010

(JCMA/JSA)

平成 22 年 10 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 産業機械技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	小林 英 男	横浜国立大学
(委員)	石坂 清	社団法人日本機械工業連合会
	市川 直 樹	独立行政法人産業技術総合研究所
	大地 昭 生	日本内燃機関連合会
	奥山 正 二	社団法人日本産業機械工業会
	狩野 文 雄	東京都健康安全研究センター(社団法人日本空気清浄協会)
	酒井 健 二	東洋エンジニアリング株式会社
	眞田 一 志	横浜国立大学(社団法人日本フルードパワー工業会)
	田中 正 晴	厚生労働省
	中山 良 樹	株式会社やまびこ(社団法人日本農業機械工業会)
	橋本 恭 典	社団法人全国木工機械工業会
	森 吉 尚	国土交通省
	山 名 良	社団法人日本建設機械化協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 13.4.20 改正：平成 22.10.20

官 報 公 示：平成 22.10.20

原 案 作 成 者：社団法人日本建設機械化協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-5776-7858)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会(部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：産業機械技術専門委員会(委員長 小林 英男)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 測定器	2
5 試験環境	3
5.1 一般	3
5.2 試験場所及び音場補正值, K_{2A}	3
5.3 試験場所	3
5.4 暗騒音の補正值, K_{1A}	4
5.5 気象条件	4
6 A 特性時間平均音圧レベルの測定	4
6.1 半球測定表面の寸法	4
6.2 半球測定表面上のマイクロホンの位置	4
6.3 機械の配置	5
7 機械の設定及び運転	6
7.1 一般	6
7.2 機関回転速度	6
7.3 ファン速度	6
7.4 機械の走行モードでの運転	7
8 A 特性音響パワーレベルの決定	7
8.1 測定手順	7
8.2 A 特性音響パワーレベルの計算	8
8.3 測定結果の算出	8
9 記録事項	8
10 報告事項	9
10.1 情報	9
10.2 音響放射値及び不確かさの宣言	9
附属書 A (規定) 基本寸法及び機械追加仕様	10
附属書 B (規定) ショベル系掘削機 (油圧ショベル及び機械式ショベル)	21
附属書 C (規定) ブルドーザ (ドーザ)	23
附属書 D (規定) ローダ	24
附属書 E (規定) バックハウローダ	26
附属書 F (規定) ダンプ (重ダンプトラック及び不整地運搬車)	27
附属書 G (規定) グレーダ	29

	ページ
附属書 H (規定) ランドフィルコンパクタ	30
附属書 I (規定) トレンチャ	31
附属書 J (規定) スクレーパ	32
附属書 K (規定) パイプレーヤ	34
附属書 L (規定) ローラ	35
附属書 M (参考) 土工機械が発生する A 特性音響パワーレベルの測定－ 動的試験条件に関する追加指針	36
附属書 N (参考) 音響放射値及び不確かさの宣言	37
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	38
解 説	41

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本建設機械化協会（JCMA）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS A 8317-1:2001** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権及び出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS A 8317 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS A 8317-1 土工機械－音響パワーレベルの決定－動的試験条件

JIS A 8317-2 土工機械－運転員位置における放射音圧レベルの決定－動的試験条件

白 紙

土工機械—音響パワーレベルの決定—動的試験条件

Earth-moving machinery—Determination of sound power level— Dynamic test conditions

序文

この規格は、2008年に第2版として発行されたISO 6395を基とし、その附属書Nに規定する、測定したA特性音響パワーレベルの再現性の標準偏差の最大値が最新の技術を反映していないため、附属書Nを“規定”から“参考”に変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、土工機械が、動的試験条件の下で運転しているときに周囲に放射する騒音を、A特性音響パワーレベルとして決定する方法について規定する。

この規格は、附属書A及びJIS A 8308に規定する土工機械に適用する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 6395:2008, Earth-moving machinery—Determination of sound power level—Dynamic test conditions (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 8308 土工機械—基本機種—用語

注記 対応国際規格：ISO 6165, Earth-moving machinery—Basic types—Identification and terms and definitions (MOD)

JIS C 1509-1 電気音響—サウンドレベルメータ（騒音計）—第1部：仕様

注記 対応国際規格：IEC 61672-1, Electroacoustics—Sound level meters—Part 1: Specifications (IDT)

JIS D 0006-1 土工機械—機関—第1部：ネット出力試験方法

注記 対応国際規格：ISO 9249, Earth-moving machinery—Engine test code—Net power (IDT)

JIS Z 8733:2000 音響—音圧法による騒音源の音響パワーレベルの測定方法—反射面上の準自由音場における実用測定方法